

厚生労働科学研究費補助金(難治疾患克服研究事業)
ホルモン受容機構異常に関する調査研究
平成 23 年度 研究報告会

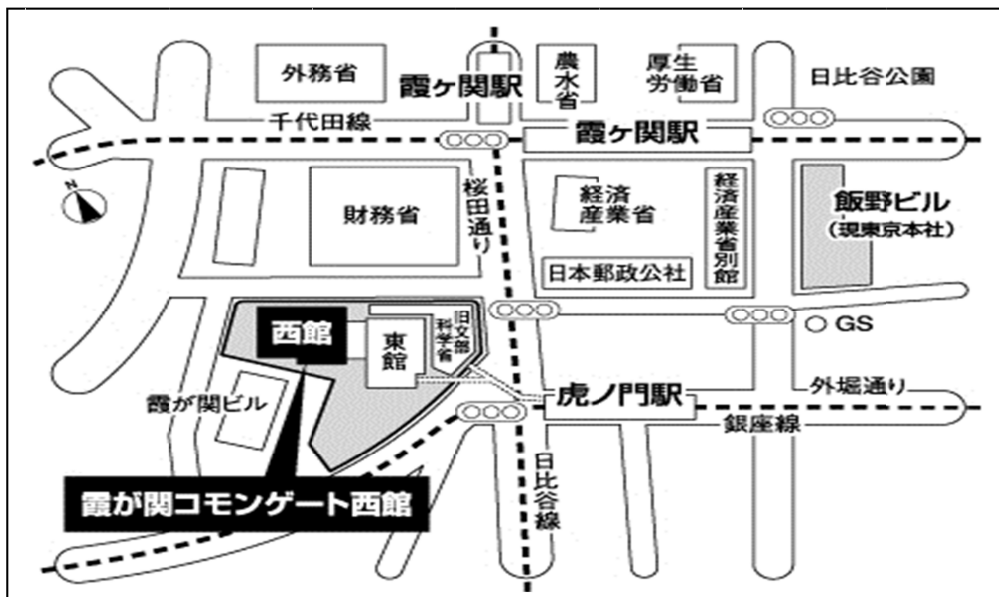
日時: 平成 24 年 1 月 13 日(金) 12:45~

場所: 〒100-8585

東京都千代田区霞が関三丁目 2 番 1 号

霞が関コモンゲート西館 30 階 コンファレンス 2・3

TEL 03 - 3506 - 4140(帝人ファーマ(株)学術部)



主任研究者 森 昌朋

群馬大学大学院医学系研究科病態制御内科学

TEL: 027-220-8120 / FAX: 027-220-8136

- 12:45 主任研究者 挨拶
12:55 厚生労働省健康局疾病対策課よりご挨拶
13:00 研究発表（発表7分、討論3分）

セッション1(13:00~13:30)

座長：大園 恵一

1. 薬剤による肝・腸管におけるビタミンD関連遺伝子発現の制御機構：
薬剤性骨軟化症の病態との関連について

虎の門病院 内分泌センター
竹下 章、竹内 靖博

2. XLH モデル Hyp マウスの胎仔期特異的リン代謝調節機構の解析

大阪府立母子保健総合医療センター研究所 環境影響部門
道上 敏美

3. Vitamin D による新たな転写抑制機構

東京大学分子細胞生物学研究所
加藤 茂明

セッション2(13:30~14:00)

座長：松本 俊夫

4. FGF23 関連性低リン血症性疾患の全国疫学調査、最終報告

徳島大学ヘルスバイオサイエンス研究部 生体情報内科学
遠藤逸朗、松本俊夫

5. くる病・骨軟化症診断マニュアルについて

東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科
木下 祐加、福本 誠二

6. 小児ビタミンD欠乏症の臨床的検討

大阪大学大学院医学系研究科 小児科学
窪田拓生、大園 恵一

セッション3(14:00~14:30)

座長: 杉本 利嗣

7. 偽性副甲状腺機能低下症の病因・病態解析

千葉県こども病院 内分泌科

皆川 真規

8. Vitamin D insufficiency における骨折リスク亢進機序に関する検討

島根大学院医学部 内科学第一講座

山内 美香、杉本 利嗣

9. ビタミン D 充足の臨床的意義と血中活性型ビタミン D の特異的役割

帝京大学ちば総合医療センター

井上 大輔、岡崎 亮

----- Coffee Break (14:30~14:50) -----

今後の班運営について(14:50~15:30)

座長: 森 昌朋

セッション4(15:30-16:10)

座長: 赤水 尚史

10. 甲状腺クリーゼの診療ガイドライン作成

和歌山県立医科大学 内科学第一講座

栗栖清悟、古川安志、稲葉秀文、西 理宏、赤水 尚史

11. バセドウ病眼症の病因・病態の解明と診断・治療法の開発に関する研究

—バセドウ病悪性眼球突出症の診断基準と治療指針の作成—

久留米大学医学部内科学講座 内分泌代謝内科

廣松 雄治

12. 白色脂肪組織における TSH の役割 —TSHR 異常症マウスを用いた検討—

山梨大学大学院 医学工学総合研究部

遠藤 登代志

13. 粘液水腫性昏睡の診断基準と治療指針(案)

獨協医科大学 内分泌代謝内科

笠井 貴久男

セッション5(16:10~16:50)

座長: 村田 善晴

14. 甲状腺ホルモン不応症診断基準作成に向けて

名古屋大学環境医学研究所 生体適応・防御研究部門 発生・遺伝分野

村田 善晴

15. 甲状腺刺激ホルモン 鎖、鎖ならびに転写因子 GATA2 発現抑制

浜松医科大学 第二内科

佐々木 茂和

16. 甲状腺ホルモン不応症における生物学的マーカーを用いたホルモン作用不応の検出

昭和大学藤が丘病院内科 内分泌代謝科

谷山 松雄

17. F455S 変異 TR による下垂体型甲状腺ホルモン不応症の妊娠例から

群馬大学大学院医学系研究科 病態制御内科学

山田 正信、森 昌朋

16:50 閉会

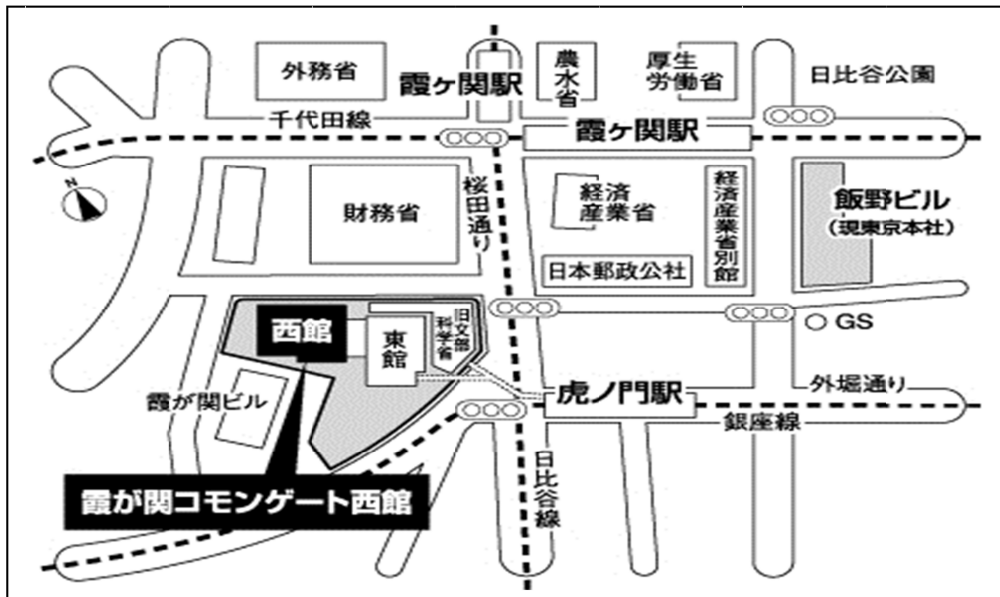
厚生労働科学研究費補助金(難治疾患克服研究事業)
ホルモン受容機構異常に関する調査研究
平成24年度 研究報告会

日時: 平成25年1月25日(金) 12:45~

場所: 〒100-8585

東京都千代田区霞が関三丁目2番1号

霞が関コモンゲート西館 30階 コンファレンス2・3



主任研究者 森 昌朋

群馬大学大学院医学系研究科病態制御内科学

TEL: 027-220-8120 / FAX: 027-220-8136

12:45 主任研究者 挨拶 森 昌朋

12:55 厚生労働省健康局疾病対策課よりご挨拶 中尾 武史 様

13:00 研究発表

セッション1(13:00~13:15)(発表5分、討論2分) 座長:村田 善晴

1. 甲状腺ホルモン不応症の甲状腺ホルモン受容体に異常を認めない一家系の解析
群馬大学大学院医学系研究科 病態制御内科学
石井角保、山田正信、森 昌朋

2. TSHR 異常症マウスは成長障害を示さない

山梨大学大学院 医学工学総合研究部
遠藤 登代志

セッション2(13:15~13:30)(発表5分、討論2) 座長: 廣松 雄治

3. 甲状腺ホルモンとその受容体を介する転調節における転写伸長反応の関わり

浜松医科大学 第二内科
松下明生、佐々木 茂和

4. 甲状腺機能亢進症と TSH 受容体遺伝子変異

昭和大学藤が丘病院内科 内分泌代謝科
谷山 松雄

セッション3(13:30~13:45)(発表5分、討論2分) 座長: 杉本 利嗣

5. XLH モデル *Hyp* マウスにおける骨細胞機能異常

大阪府立母子保健総合医療センター研究所環境影響部門
道上敏美

6. 常染色体優性低 Ca 血症 (ADH) モデルマウスの検討

徳島大学ヘルスバイオサイエンス研究部 生体情報内科学
遠藤逸朗、董冰子、近藤剛史、松本 俊夫

セッション4(13:45～14:00) (発表5分、討論2分) 座長: 竹内 靖博

7. ラット vivo モデルを用いた、骨吸収抑制剤がビタミン D 代謝に及ぼす影響の検討
虎の門病院 内分泌内科
竹下 章、竹内 靖博
8. Vitamin D insufficiency における骨脆弱性に関与する因子の研究
島根大学院医学部 内科学第一講座
山内 美香、杉本 利嗣

今後の班運営について(14:15～14:30) 座長: 森 昌朋

----- Coffee Break (14:30～14:50) -----

公開セミナー

セッション5(15:00～15:20) (発表7分、討論3分) 座長: 田中 祐司

9. 甲状腺クリーゼ治療指針作成に向けて
和歌山県立医科大学 内科学第一講座
古川安志、赤水 尚史
10. バセドウ病眼症の病因・病態の解明と診断・治療法の開発に関する研究
久留米大学医学部内科学講座 内分泌代謝内科
廣松 雄治

セッション6(15:20～15:40) (発表7分、討論3分) 座長: 赤水 尚史

11. 粘液水腫性昏睡の治療指針の作成
～甲状腺ホルモン注射製剤の効果・安全性と安定的調整法～
防衛医大 総合臨床部 大野洋介、白石美絵乃、田中 祐司
防衛医大 異常環境研究部門 山本頼綱
12. 甲状腺ホルモン不応症診断の手引き
名古屋大学環境医学研究所 生体適応・防御研究部門 発生・遺伝分野
村田 善晴

セッション7(15:50~16:10) (発表7分、討論3分) 座長: 松本 俊夫

13. ビタミンD不足・欠乏症ガイドラインにむけて

帝京大学ちば総合医療センター・第三内科

井上大輔、岡崎 亮

14. ビタミンD欠乏症くる病・低リン血症性くる病の診断における、くる病・骨軟化症診断
マニュアルの有用性の検討

大阪大学大学院医学系研究科 小児科学講座

窪田拓生、大園 恵一

セッション8(16:10~16:30) (発表7分、討論3分) 座長: 大園 恵一

15. 偽性副甲状腺機能低下症の病因・病態・診断に関する研究

千葉県こども病院 内分泌科

皆川 真規

16. PTH製剤による副甲状腺機能低下症の治療

東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科

福本 誠二

16:30 閉会

厚生労働科学研究費補助金 難治疾患克服研究事業

ホルモン受容機構異常に関する調査研究班 平成 24 年度公開セミナー

1 甲状腺クリーゼと
バセドウ病眼症

2 粘液水腫性昏睡と
甲状腺ホルモン不応症

3 ビタミンD欠乏症と
副甲状腺機能低下症

日時

2013年

1月25日 (金)
15:00～16:30

**入場
無料**

場所

霞が関コモンゲート西館 30 階
コンファレンス 2・3

東京都千代田区霞が関三丁目2番1号
TEL：03-3506-4140（帝人ファーマ(株)学術部）

ホルモン受容機構異常に関する調査研究 研究代表者 森昌朋

事務局：群馬大学医学部病態制御内科

〒371-8511 前橋市昭和町 3-39-15 TEL：027-220-8120 FAX：027-220-8136

2012

**甲状腺・副甲状腺疾患の
最新の研究成果**

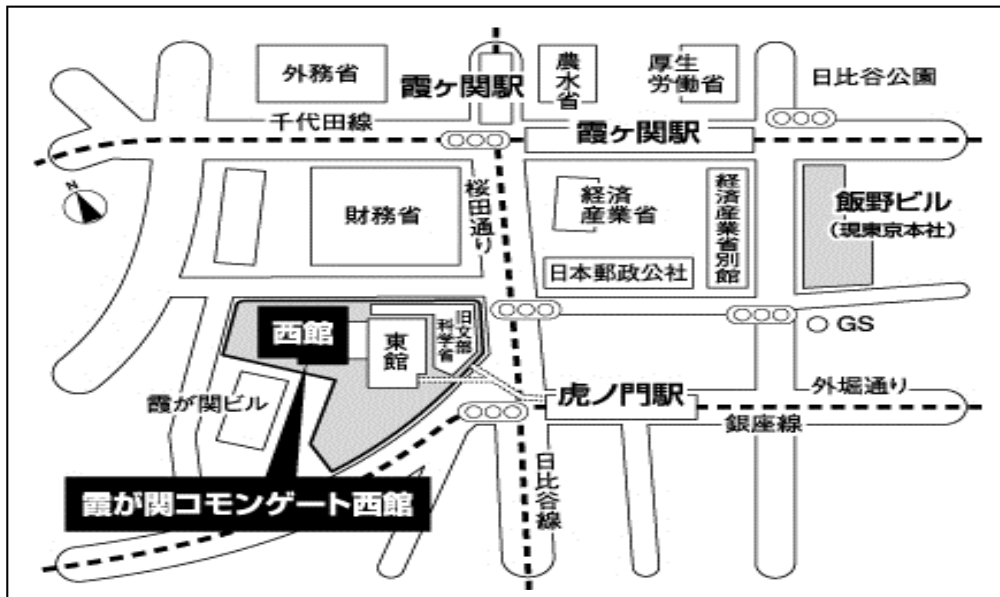
厚生労働科学研究費補助金(難治疾患克服研究事業)
ホルモン受容機構異常に関する調査研究
平成 25 年度 研究報告会

日時: 平成26年1月30日(木) 12:45~

場所: 〒100-8585

東京都千代田区霞が関三丁目2番1号

霞が関コモンゲート西館 30階 コンファレンス2・3



主任研究者 森 昌朋

北関東肥満代謝研究所

TEL: 0277-47-6688 / FAX: 0277-47-6689

12:45 主任研究者 挨拶 森 昌朋

13:00 研究発表

セッション1(13:00~13:15) (発表5分、討論2分) 座長: 松本 俊夫

1. 生活習慣病におけるビタミンD代謝

帝京大学ちば総合医療センター・第三内科

井上大輔、岡崎 亮

2. 副甲状腺機能低下症患者のPTH分泌動態

東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科

木下祐加、福本 誠二

セッション2(13:15~13:30) (発表5分、討論2分) 座長: 赤水 尚史

3. B型インスリン抵抗症の病態と治療

東北大学大学院医学研究科 代謝疾患分野・糖尿病代謝科

片桐 秀樹

4. インスリン作用障害の病態解析を通じた新規な病態診断法と治療法の開発

神戸大学大学院医学研究科 内分泌内科

小川 渉

セッション3(13:30~13:45) (発表5分、討論2分) 座長: 杉本 利嗣

5. XLHモデル *Hyp* マウスにおける胎児期ミネラル代謝の解析

大阪府立母子保健総合医療センター 研究所環境影響部門

道上敏美

6. 常染色体優性低カルシウム血症モデルマウスに対する calcilytics の作用

徳島大学ヘルスバイオサイエンス研究部 生体情報内科学

遠藤逸朗、董冰子、福本誠二、松本 俊夫

セッション4(13:45~14:00) (発表5分、討論2分) 座長: 竹内 靖博

7. ビタミンD代謝酵素の調節機構

虎の門病院 内分泌内科

竹下 章、竹内 靖博

8. ビタミンD不足・欠乏における骨折リスク上昇に関わる因子に関する研究

島根大学院医学部 内科学第一講座

山内 美香、杉本 利嗣

セッション5(14:00~14:15) (発表5分、討論2) 座長: 山田 正信

9. 甲状腺ホルモン受容体による転写調節における転写伸長因子 P-TEFb の関与
浜松医科大学 第二内科
松下明生、佐々木 茂和

10. 最適な治療法の開発を目指した粘液水腫性昏睡モデル動物の確立
防衛医大 総合臨床部 大野洋介、白石美絵乃、田中 祐司
防衛医大 異常環境研究部門 山本頼綱

今後の班運営について(14:30~14:45) 座長: 森 昌朋

----- Coffee Break (14:45~15:00) -----

公開セミナー

セッション6(15:00~15:15) (発表5分、討論2分) 座長: 田中 祐司

11. 甲状腺クリーゼ診療ガイドラインの作成
和歌山県立医科大学 内科学第一講座
古川安志、有安 宏之、赤水 尚史
12. バセドウ病眼症の病因・病態の解明と診断・治療法の開発に関する研究
久留米大学医学部内科学講座 内分泌代謝内科
谷 淳一、廣松 雄治

セッション7(15:15~15:40) (発表5分、討論2分) 座長: 村田 善晴

13. 甲状腺ホルモン不応症における T3 負荷時のホルモン作用の指標について
昭和大学藤が丘病院内科 内分泌代謝科
谷山 松雄
14. 甲状腺ホルモン受容体に変異を認めない甲状腺ホルモン不応症の解析
群馬大学大学院医学系研究科 病態制御内科学
石井角保、山田正信
15. 甲状腺ホルモン不応症(RTH)の診断指針
名古屋大学環境医学研究所 生体適応・防御研究部門 発生・遺伝分野
村田 善晴

セッション8(15:40～15:55) (発表5分、討論2分)

座長: 大藺 恵一

16. 偽性副甲状腺機能低下症の病因・病態解析

千葉県こども病院 内分泌科

皆川 真規

17. 稀な遺伝子異常によるカルシウム代謝異常症の3症例

大阪大学大学院医学系研究科 小児科学講座

山本景子、大藺 恵一

16:00 閉会

厚生労働科学研究費補助金 難治疾患克服研究事業

ホルモン受容機構異常に関する調査研究班 平成25年度公開セミナー

1 甲状腺クリーゼと
バセドウ病眼症

2 甲状腺ホルモン不応症

3 副甲状腺機能低下症と
カルシウム代謝異常症

日時

2014年

1月30日 (木)

15:00～16:00

**入場
無料**

場所

霞が関コモンゲート西館 30 階
コンファレンス 2・3

東京都千代田区霞が関三丁目2番1号

ホルモン受容機構異常に関する調査研究 研究代表者 森昌朋
事務局：北関東肥満代謝研究所

〒379-2311 群馬県みどり市笠懸町阿左美1159-1 TEL:0277-47-6688 FAX:0277-47-6689

甲状腺・副甲状腺疾患の
最新の研究成果